

山形市上下水道部だより

平成30年 5月
山形市上下水道部
TEL 645-1177(代表)

みなさんご存知でしたか？ 水道・下水道の現状について



山形市の水道は **95歳** に
下水道(汚水)は **53歳** になりました

山形市の水道

大正12年 通水開始
以来、4次にわたる拡張事業により、
普及率 99.9%
給水人口 243,518人
給水戸数 99,749戸

※平成28年度決算値

※大曾根地区、村木沢地区、大字門伝字山王、飯塚町の一部にお住まいの方は、最上川中部水道企業団(中山町)の給水区域となります。

山形市の下水道(汚水)

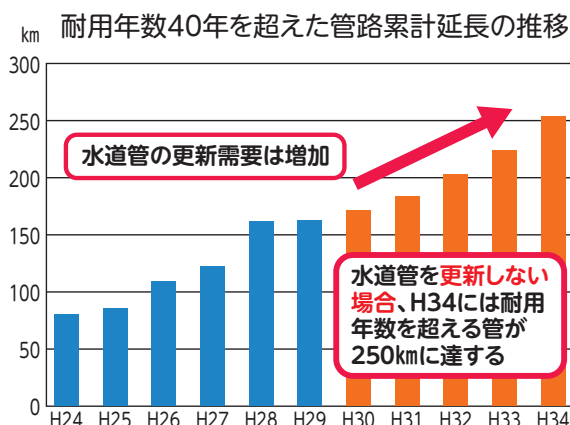
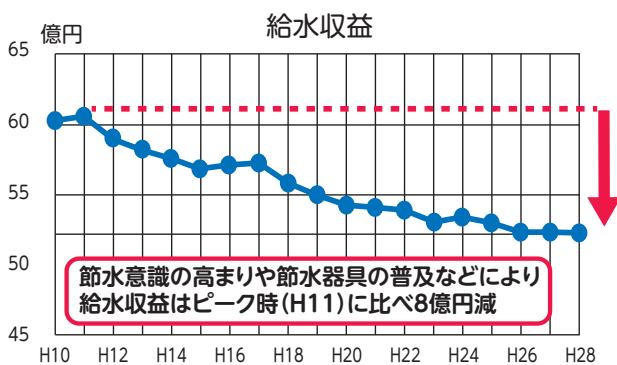
昭和40年 供用開始
快適な生活環境を実現するため、平成に入り
急ピッチで汚水管きよの整備を行ったことにより、
普及率 97.6%
利用人口 222,673人
利用戸数 70,314戸

※平成28年度決算値

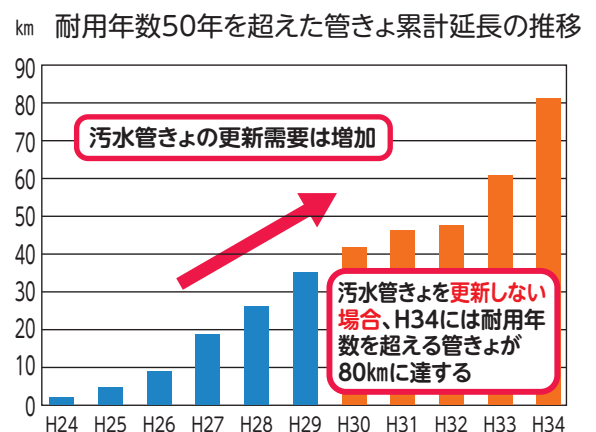
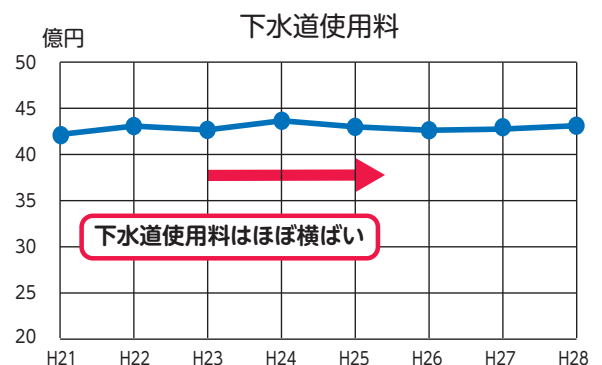
これまでのお客さまからのご理解とご協力により
ほとんどの市民の皆さまに水道・下水道(汚水)をご利用いただけるようになりました。

山形市の水道・下水道(汚水)事業は、お客さまから
いただく料金で成り立っている独立採算制の公営企業です

水道事業の現状は



下水道(汚水)事業の現状は



経費の削減に取り組んでいます

経営環境は厳しさを増してきておりますが、経費の削減に取り組むことで、現行の料金水準を維持しながら、経営の健全性確保に努めています。

●人件費の削減

平成30年度からは、民間活力の活用による業務の包括委託(水道料金等徴収業務、給排水関連業務、お客さまサービスセンター業務を委託)により職員を削減

削減見込 平成30～36年度
23人の職員を削減／7年間で3億2千万円の削減

●電気代の削減

再生可能エネルギーの活用
太陽光発電(管理センター) ▶ 年間約 240万円削減
小水力発電(松原浄水場) ▶ 年間約1,180万円削減
消化ガス発電(浄化センター) ▶ 年間約5,000万円削減

小水力発電とは…松原浄水場(水道施設)では、水源の蔵王ダムから浄水場までの水の流れと高低差を利用して発電しています。
消化ガス発電とは…浄化センター(下水道施設)では、汚水を処理した後に残る汚泥を処理する過程で発生した消化ガスを燃料に発電しています。



「経営の効率化」や「持続可能な経営基盤の構築」に取り組むための長期的な経営計画として、「山形市上下水道事業基本計画」H25～H34を策定しています



基本方針 健全な水循環を守り、豊かな環境と安心を未来につなぎます

基本目標

I. いつまでも安定し信頼される上下水道
II. 災害にまけない強靱な上下水道

III. 安全で快適な暮らしを支える上下水道
IV. 人にやさしく環境にやさしい上下水道

H25～H29 前期5年間の 成果

- 主要3水系(※)間の相互融通機能の整備
平成25年豪雨での県営村山広域水道断水時、近隣の事業体は断水した中、松原水系の水を県水系に融通することにより、山形市は全域で断水を回避しました。
- フレジット払いの導入
- 汚水マンホールへの断熱中蓋の設置
圧雪時、マンホール内に断熱効果のある中蓋を設置することで雪を解けにくくし、雪道の安全性を確保しています。

- 水道メーター上流での漏水修繕の実施
水道料金に影響しない水道メーター上流での漏水修繕工事の実施により、水資源の有効活用を図っています。
- 公道における配水管整備
前面道路(公道)に配水管が整備されてない場合、土地の利用状況や将来の水需要見込み等を勘案し、上下水道部が整備を行っています。(一部費用負担を伴う場合もあります)

※主要3水系とは…見崎水系、松原水系、県水系のことをいいます。
見崎水系：見崎浄水場からの配水区域
松原水系：松原浄水場からの配水区域
県水系：県営村山広域水道区域(南山形配水場からの配水区域)
県営村山広域水道区域では、西川浄水場(西川町)でつくられた水道水を山形県から購入し供給しています。

山形市上下水道事業基本計画(後期計画) H30～H34

前期5年間の取り組みを検証し、必要な見直しを行い、今後5年間に取り組むべき施策や方針を示す後期計画を策定しました。

今後5年間の主な取り組み

民間活力の活用による包括委託の実施

お客さまサービスの向上と経費削減のため、民間活力の活用による包括委託を実施し、きめ細やかなお客さまサービスの向上を図ります。

広域連携の推進

経営基盤の強化のため、村山地域の水道事業体等と協議を行い、広域連携の推進に取り組めます。

水道施設の耐震化

地震などの災害時における水道機能の確保のため、水道管路の耐震化を実施します。



出典:日本ダクトアイル鉄管協会

下水道施設の耐震化

地震や液状化被害などの災害時における下水道機能の確保のため、下水道管路の耐震化を実施します。



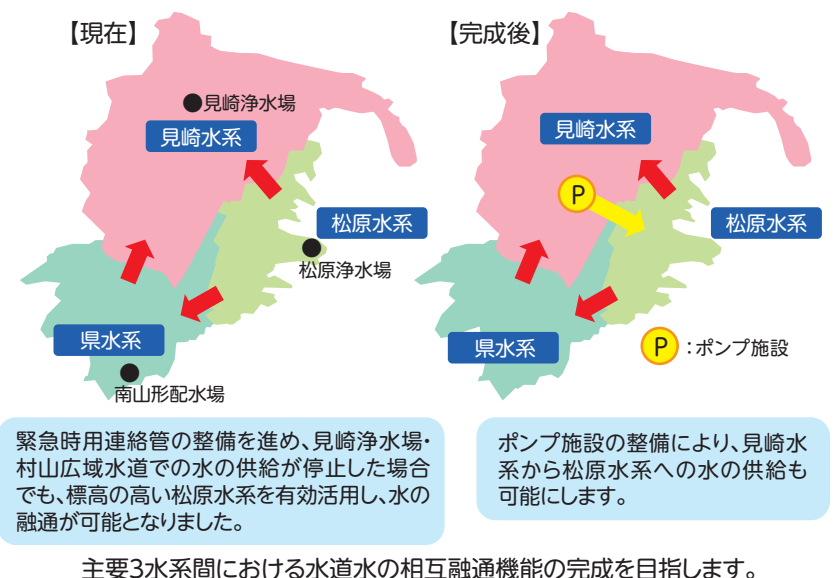
東日本大震災で浮上したマンホール(宮城県多賀城市)

污水管きよの整備事業完了

平成34年度までに整備事業の完了を目指します。



主要3水系間における水道水の相互融通機能の完成





「身近な広聴」と「わかりやすい広報」を目指した活動をさらに展開していきます

いつでもどこでも伺います 出前講座

上下水道部では、お客さまに水道・下水道について理解を深めていただくよう、職員がお伺いして、水道水の安全性、料金や災害対策への取り組み等についてわかりやすくお話をさせていただく出前講座を行っております。

町内会、地域の集い等、市内で活動する団体やサークル等でご利用いただいております。ぜひお申込ください。



小荷駄町三区町内会 いきいきサロン「あじさい会」の皆さまにご利用いただきました。



北斗町内会 いきいきサロンの皆さまにご利用いただきました。

出前講座をご利用いただきました皆さまから、このようなご意見・感想をいただいております。

- ・料金が安い理由を説明してもらって納得した。
- ・経費削減の努力がわかった。
- ・災害時の応援体制が整っていて安心した。
- ・水を汲んだ状態の色々な容器の重さを体験できて備えの参考になった。

問合せ先 山形市上下水道部経営企画課広報広聴係

電話645-1177(内線212)

お待ちしております 施設見学

○水道施設(水道水をつくる場所)
見崎浄水場(山形市見崎川原52)



東北文教大学の皆さまにご利用いただきました。

問合せ先 見崎浄水場 電話681-8040

見崎浄水場と浄化センターでは、お客さまに水道・下水道に関心を持っていただくため、施設見学を行っています。

○下水道施設(汚れた水をきれいにする場所)
浄化センター(山形市嶋南一丁目11-5)



山形市立第七小学校の皆さまにご利用いただきました。

問合せ先 浄化センター 電話684-3272

詳しくはホームページをご覧ください、お問い合わせください



山形市上下水道部 〒990-0836 山形市南石関27番地
TEL 645-1177(代表)
開庁時間: 月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時15分
(祝日および12月29日から1月3日を除く)

上下水道部公式ホームページ「AQUA FRONT」

山形市上下水道部 検索

<http://suidou.yamagata.yamagata.jp/>